

vol.  
802

# Compass

🏠 <http://nikkenkyo.jp/>  
✉ [info@nikkenkyo.jp](mailto:info@nikkenkyo.jp)

9

September  
2014



Start with the clapperboard  
for the attractive construction industry

日建協

## 2014年度 日建協の活動&執行部紹介

第91回 日建協定期大会

新たな風をとらえて  
つくりたい 魅力ある建設産業を

日建協結成60周年 記念講演・祝賀会

女性技術者が入るために  
働き続けるために・・・どうする?

統一土曜閉所運動特集

11月8日は統一土曜閉所日 土曜日は休日だ!

加盟組合間交流会

日建協ヤング・ゴー!・ゴー! 2014 開催報告

日建協共済制度のお知らせ 第一次募集×切目前

お酒と上手に付き合おう! 【最終弾】まとめ

続・東西組合細見 25 — 戸田建設職員組合

クロスワードタイム 他

# 2014年度 日建協の活動 & 執行部紹介

😊 : 2014年度の抱負  
 😊 : 自己PR

## 働きがい・産業としての魅力 労働条件の向上

● 私たちのワーク・ライフ・バランスをめざして ●

発注者 業界団体 行政機関 労働団体

【日建協の活動】



うえむら よしてる  
植村 芳輝  
議長  
シミズユニオン  
事務

😊 大きく変化を始めている建設産業。この変化に対応するだけではなく、常に先手を打って行動に移りたいと思います。

😊 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、積極的に仕事も遊びもこなします。何事も前向きに取り組むことが私のモットーです。

とどう たかし  
登藤 高司  
副議長兼  
政策企画局長  
フジタ職員組合  
事務

😊 建設産業で食わせてもらい早20数年。建設産業の魅力化のために、少しでも役に立ちたいと思います。がんばります。

😊 少年サッカーのコーチになって、早10年。週末は将来の建設業を担うかもしれない悪ガキと、サッカーを楽しんでいます。

すみ しんや  
角 真也  
副議長兼  
政策企画局長  
五洋建設労働組合  
事務

😊 先輩方が蒔いた種がしっかりと花開くよう「一歩前へ」の精神で全力で活動に取り組んでまいります。

😊 私、実はこう見えて虚弱体質なんです。毎日、お酢を飲んでギリギリの健康管理をしていますので、皆さんお手柔らかに。

よした ともお  
吉田 朋生  
事務局長  
安藤ハザマユニオン  
事務

😊 謙虚に誠実に、そして全力で、建設産業が少しでも良くなるよう、がんばっていききたいと思います。

😊 水泳やバスケットなど、学生時代は結構いろんなスポーツに打ち込んでいたのですが、なぜかゴルフだけは思うように行きません…。

なち つよし  
那知 健志  
政策企画局次長  
(労働条件)  
西松建設職員組合  
事務

😊 自分にできること、やるべきことをしっかりと整理し実行していきたいと思っています。

😊 昨年度の活動から「さらに一歩先へ」躍進できるようにがんばります。加盟組合員の皆さんのお力添えをよろしくをお願いします。

ときえだ まさお  
時枝 将雄  
政策企画局次長  
(産業政策)  
戸田建設職員組合  
建築

😊 働き手に配慮した魅力ある建設産業を目指し、取り組んでまいります。建設的なご意見をドシドシお寄せ下さい。

😊 子どもに職業の一つとして、ものづくり建設産業の仕事が分かりやすく伝えられているか、目下オフの最大テーマです。

たなか ひろゆき  
田中 宏幸  
組織局  
(組織・広報)  
奥村組職員組合  
土木

😊 今年度は焦らず、一歩一歩足元を確かめながら確実に前へ前へ進むよう頑張ります。

😊 ワーク・ライフ・バランスのより一層の実現を目指し、忘れかけていた趣味の復活、新たな趣味の保有にも取り組んでいきます。何か良い趣味ありますか…

もりした よしたか  
森下 泰隆  
政策企画局  
(労働条件)  
佐藤工業職員組合  
土木

😊 組合員のみなさんが長く働けるよりよい職場環境を目指して活動に取り組みたいと思います。

😊 打たれ強い(本当は弱い)。人にはよくまじめといわれる(見た目だけ)。大阪出身である(特にメリットはない)。お酒を飲めない(人生の半分は損をしている?)。こんな私ですがよろしくお願いします。

ちのう けんじ  
地濃 健治  
政策企画局  
(産業政策)  
飛鳥建設労働組合  
土木

😊 魅力ある建設産業をめざし、加盟組合みなさんの声を大事にして微力ながら頑張ります。

😊 ワーク・ライフ・バランスのライフの充実のため、休日にはいろいろな場所を旅したいです。

なかむら こういち  
中村 浩一  
政策企画局  
(産業政策)  
三井住友建設  
社員組合 事務

😊 魅力ある建設産業の実現のため、組合員の皆様や関係団体の声・想いを一生懸命聞き、一つでも形にするために頑張ります。

😊 会社の和太鼓部に入部して早や10年。これからも伝統継承と体型維持のため頑張って叩き続けたいです。皆様、一度叩きに來ませんか?

まつい ひさえ  
松井 久恵  
事務局

😊 皆さんの声をしっかりと聞き、皆さんの職場環境が良くなるように、今年一年間がんばっていきます。

😊 毎日一万歩以上歩いたのは、年間の半分くらいでした。歩くのは続けて、健康のために新しい事にもチャレンジしたいと思っています。

いで ますみ  
井出 真澄  
事務局

😊 広報物やWEB関連をさらに見やすく、楽しく、使いやすく、そして美しくレベルアップしていきたいです。日建協の広報力アップに役立てるよう頑張ります。

😊 じっくり丹念の一つひとつの課題に取り組むようにしています。納得いくまで練り込んだ仕事、趣味といえ練習を重ねた成果など、マイペースで前進です。

やぎ のりこ  
八木 規子  
事務局

😊 日建協共済制度加入者の皆様からの問い合わせの一つ一つ丁寧に、的確にお応えできるように日々努力していきます。

😊 休日に図書館に通うようになりました。本に囲まれリフレッシュ、情報収集ができ、往復で少々の運動になります。

今年は  
このメンバーで  
頑張ります!

# 日建協 第91回 定期大会

## 新たなる風をとらえて つくろう 魅力ある建設産業を

7月31日、8月1日の両日、日建協は東京（日暮里）のホテルラングウッドにおいて第91回定期大会を開催しました。加盟組合から代議員と多数の傍聴者が出席し、活動方針などについて活発な議論を交わしました。スローガン「新たなる風をとらえて つくろう 魅力ある建設産業を」のもと、2014年度の日建協活動をスタートしました。



議長団：左より  
吉川大会議長（飛鳥建設労働組合）  
猪俣大会議長（鉄建建設職員組合）



新執行部代表挨拶



分散会での熱心な討議



議案は可決・承認



第1分散会 阿部主査（戸田建設職員組合）  
第2分散会 赤津主査（銭高組労働組合）  
第3分散会 都留主査（馬淵建設職員組合）

### 議長挨拶

### 「誇るべき魅力ある建設産業をめざして」

議長 植村 芳輝

昨年より引き続き本年度、議長を務めさせていただき植村と申します。この一年間、加盟組合の皆さんと共に、全身全霊で活動を進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

建設産業は、その事業量が拡大している中で、現場で働く人材が不足するなど大きな課題を抱えています。そのような建設産業に対して危機感を抱いた国や業界団体は、建設産業の持続的な発展に向けて様々な取り組みを始めました。まさに産業全体が変わろうとしている現状において、今が労働環境を改善していく絶好の機会であると考えます。

今年度、日建協のスローガンは「新たなる風をとらえて つくろう 魅力ある建設産業を」です。まさに吹き始めている建設産業への風をしっかりとらえて、変わり始めた動きを正のスパイラルとして好循環に変えていくことが必要と考えます。長時間労働の抑制や賃金水準の向上など課題はまだ山積しています。新年度執行部は今一度活動の真意を問ひなおし、魂のこもった活動を展開して参ります。

全ては一人ひとりが考えるワーク・ライフ・バランスの実現に向けて。そして、この建設産業の未来を担うであろう若者たちのために。

これまで先輩達が築き上げてきたこの素晴らしい建設産業を、魅力あるものにするために、全力で邁進していくことを此処に宣言し、私からの挨拶に代えさせていただきます。



### 分散会で出た主な意見等

- ・長年にわたる日建協の政策提言の成果について、組合員にも分かるよう情報展開に努めてほしい。
- ・女性技術者が働きやすい職場について情報展開してほしい。女性技術者会議での意見はしっかりと関係機関に発信してほしい。
- ・時短推進委員会において、統一土曜閉所運動の産業全体への拡大策や他産別の時短の取り組み事例の展開方法などを議論し提示してほしい。
- ・賃金交渉については、月例賃金や一時金水準の向上に繋がる有効な情報を収集し発信してほしい。基本構想策定にあたっては引き続き情報の共有化をしっかりと行って進めてほしい。
- ・海外問題懇談会は、加盟組合間の有意義な情報交換の場となるよう、また抱えている問題の解決に繋がるよう開催方法を検討してほしい。
- ・日建協ヤング・ゴー!・ゴー!については、地方開催も含め検討の上、ぜひ今後も開催してほしい。

分散会で頂いた貴重なご意見は、今後の日建協活動の参考にさせていただきます。

## 2014年度活動方針(ポイント)

### 《活動の2本柱》

#### ■産業政策活動

##### ・提言活動

作業所ではたらく組合員の長時間労働などの諸問題の解消をめざして、行政や発注者へ提言活動を実施します。

##### ・アドバイザー会議

土建共通の課題も多いことから、これまでの土建別での会議体にとどまることなく、また女性や若手の方にも参加していただき、柔軟性を持った意見発信に努めていきます。

##### ・産業の魅力化

建設産業の次世代を担う大学生を対象に出前講座を開催し、社会資本整備の重要性やものづくりのすばらしさを伝えます。これまでの女性技術者会議での声を取りまとめ、関係機関に発信していきます。

#### ■加盟組合支援

##### ・統一土曜閉所運動の推進

行政や業界団体、加盟組合企業とさらなる連携した取り組みを推進し、産業全体の運動に発展させます。

##### ・休日取得、平日の所定外労働時間の削減

時短アイデア大賞入選作品「ノー残業当番」や時短アイデアグッズ「魔法のシート」、また時短推進委員会で作成した「時短ポスター」などを展開し、時短意識の高揚を図ります。

##### ・賃金交渉基本構想の策定

加盟組合が効果的な賃金交渉に取り組めるよう、しっかりと協議を行い、2015年賃金交渉基本構想を打ち出します。

##### ・日建協個別賃金の改訂

消費税増税や物価上昇による家計への影響を十分考慮し、あるべき賃金水準の見直しを行います。

##### ・加盟組合個別支援

加盟組合がかかえる労働時間や雇用に関する問題、賃金に関する諸問題について、情報や資料の提供をするとともに、日建協顧問弁護士の紹介などの個別支援を行います。

### 《活動の基盤》

#### ■データバンク機能

##### ・データの充実

時短アンケートや賃金調査、労働条件総合調査など実施し、充実した日建協活動の基盤とします。また、調査結果は適切に加盟組合へフィードバックします。

#### ■組織活動

##### ・組織拡大にむけた取り組み

建設産業ではたらく組合員の声をさらに大きくするため、未加盟組合などに対して活動参加を呼びかけます。

##### ・組織内外にむけた広報活動の充実

「Compass」や「Nikkenkyo News」など、活動をさらに知ってもらえるよう興味を惹く内容とします。また「R48」は、提言や時短に関する活動のフィードバックとあわせて、関係法令などの価値ある情報を提供していきます。

## 大会ご来賓の皆様からのメッセージ

日本労働組合総連合会(連合)  
副事務局長 小川 裕康 様

連合では、東日本大震災を風化させないこと、被災地の復興・再生を引き続きオールジャパンで支えていくこととしています。日建協のみなさんと共に課題解決に向け取り組んでいきたいと思ひます。



国土交通省 土地・建設産業局  
建設市場整備課 労働資材対策室長  
松下 雄介 様

建設産業は我が国の基幹産業の一つですが、今、様々な課題に直面しています。日建協には引き続き建設産業の方々の社会的、経済的地位の向上、働きがいのある職場の実現に向けて、より一層の活躍を期待しています。



厚生労働省 職業安定局  
建設・港湾対策室長 上田 国土 様

建設産業の魅力を上向きさせるには処遇改善が重要なポイントとなります。そのためには、組合の主張、使用者の理解、行政の担保の3つが重要です。しっかりした主張を行うためにも活発な議論を期待します。



内閣府 男女共同参画局推進課長  
仕事と生活の調和推進室参事官  
内閣参事官 大地 直美 様

毎回活発に議論が行われる女性技術者会議は素晴らしい取り組みだと思います。建設産業での女性技術者の活躍のためにも、内閣府としてもWLBの実現を日建協、関係者のみなさんと連携しながら推進していきます。



建設産業労働組合懇話会(建設産労懇) 副会長  
情報通信設備建設労働組合連合会 議長  
福岡 信宏 様

建設産労懇の仲間とともに、建設労働者の社会的地位の向上、安全面、安心して働ける職場の確保に努めたいと考えております。日建協のみなさまの引き続きのご厚意を賜りますようお願いいたします。



### ～退任役員を代表して～ 前事務局長 澁川 明

第91回定期大会をもって、私たち3人は退任しました。第88回定期大会でデビューし、当時は、右も左もわからず挨拶をしていたことが思い出されます。この3年間は、多くの方々との交流をさせていただき、私たちに本当にも意義がありたい日々でした。今後益々発展していく日建協をOBとして陰ながら応援し続けたいと思ひます。



今回退任した皆さん  
左から澁川前事務局長  
福山前副議長、佐藤前副議長

日建協は、建設産業ではたらく皆さんの想いにしっかりと応えられるよう、加盟組合とともに全力で取り組んでまいります。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

# 日建協結成60周年 記念講演・祝賀会

日建協は、本年、結成60周年を迎えることとなり、日ごろよりお世話になっている方々への感謝の意を込めて、8月1日の定期大会終了後に「日建協結成60周年 記念講演・祝賀会」を開催しました。多くの方々にご参加を賜り、日建協結成60周年という一つの節目を共に祝っていただきました。

## 日建協結成60年のあゆみ



- 1954年12月12日、結成大会が八重洲の国鉄労働組合会館大会議室にて開催され、16組合9000名により日建協はその歩みをスタートさせました。結成大会スローガンは「建設職組の全国組織統一歳」「建設産業の封建制を打破しよう」「日建協の団結を強化しよう」「建設労働者の社会的地位を向上しよう」「建設産業を我々の手で防衛しよう」でした。
- 1957年、初めての統一行動「現場全休制運動」がスタートし、日曜日を休むなど人間らしい生活を目指した取り組みが始まりました。
- 1962年、労働大臣あてに建設現場における第1・第3日曜日の全休を要請し、諸官庁も徐々に日曜全休を義務付けるようになりました。
- 1968年、時短連絡会議が設置され「日曜全休」「土曜半休」「週当たりの労働時間40時間以内」「夏季休暇の新設」などを当面の目標として産業内外に働きかけを強化していきました。
- 1976年、長年の取り組みが経営者団体を動かし「日曜全休」の推進を打ち出すことで労使一体の取り組みへと発展しました。
- 1989年、日曜日の休日取得率が約90%になるなど、日曜日が休日ということが定着し始め、「完全週休2日制度」が加盟組合の9割で導入されました。
- 1991年「土曜閉所運動」がスタートし、現在も土曜日が普通に休める建設産業を目指して取り組みを進めています。



## 祝賀会



司会の内田舞さん (五洋建設労働組合)



- 道建協 山下議長
- BWI-JAC 岩崎議長
- 国土交通省 毛利土地・建設産業局長
- 厚生労働省 広畑雇用開発部長
- 清水建設 辻野常務
- 日建連 坂山専務理事
- 連合 古賀会長
- 内閣府 久保田大臣官房審議官
- 大豊労組 稲葉委員長
- 日建協 吉田事務局長
- 日建協 植村議長
- 建設業振興基金 内田理事長

加盟組合を代表して、フジタ職員組合の大石執行委員長より、「これまでの10年は、非常に厳しい時代でしたが、これからの10年はしっかりと産業の魅力を上向きにしなければなりません。36加盟組合全体で、日建協活動を盛り上げていきましょう」との前向きなご挨拶をいただき、その後みんなで盛大に乾杯を行いました。



## 記念講演 「人材危機をどう乗り越える」 一般財団法人 建設業振興基金 理事長 内田俊一 様



■一般財団法人建設業振興基金とは  
建設産業の近代化・合理化を図るために中小建設業の金融の円滑化、建設産業の構造改善・情報化の推進、建設業経理士試験、建設業経理事務士検定や建築及び電気工事施工管理技術検定等の諸事業を実施し、建設産業の振興に寄与することを目的として、1975年に国と建設業者団体等からの拠出によって設立された公益法人です。

※内田理事長 紹介  
1972年 旧建設省入省 1988年 建設経済局建設業構造改善対策官  
1997年 大臣官房政策課長 1999年 内閣官房内閣参事官室内閣参事官  
2006年 内閣府事務次官 2009年 消費者庁長官  
2010年 建設業振興基金の理事長に就任



## ご来賓の皆様から心に残るメッセージを頂戴しました!

日本労働組合総連合会(連合) 会長 古賀 伸明 様



これまでの60年、道のりは平坦ではなかったと推察します。今後も、皆さんの知恵と行動で、新しいステージに向けた歴史を確実に築いてほしいと思います。

国土交通省 土地・建設産業局長 毛利 信二 様



国交省では、建設産業全体の振興を考え、活性化に向けて取り組みを進めています。建設産業は、広範にわたり重要な役割を担う基幹産業です。その産業を支える皆さんに期待しています。

厚生労働省 職業安定局 雇用開発部長 広畑 義久 様



建設産業では、過去の公共投資減少に伴う賃金水準の低下などにより全国的な人手不足が続いています。厚労省としても若年者の入職と定職にむけて雇用環境の改善に努めており、日建協の活躍にも期待しています。

内閣府 大臣官房審議官 男女共同参画局担当 久保田 治 様



ワークライフバランスの推進により働きやすい職場を作ることが女性の活躍、またそこで働く方々の幸せに繋がると考えます。建設産業のワークライフバランスが進み、魅力ある職場になることを期待します。

一般社団法人日本建設業連合会 専務理事 坂山 修平 様



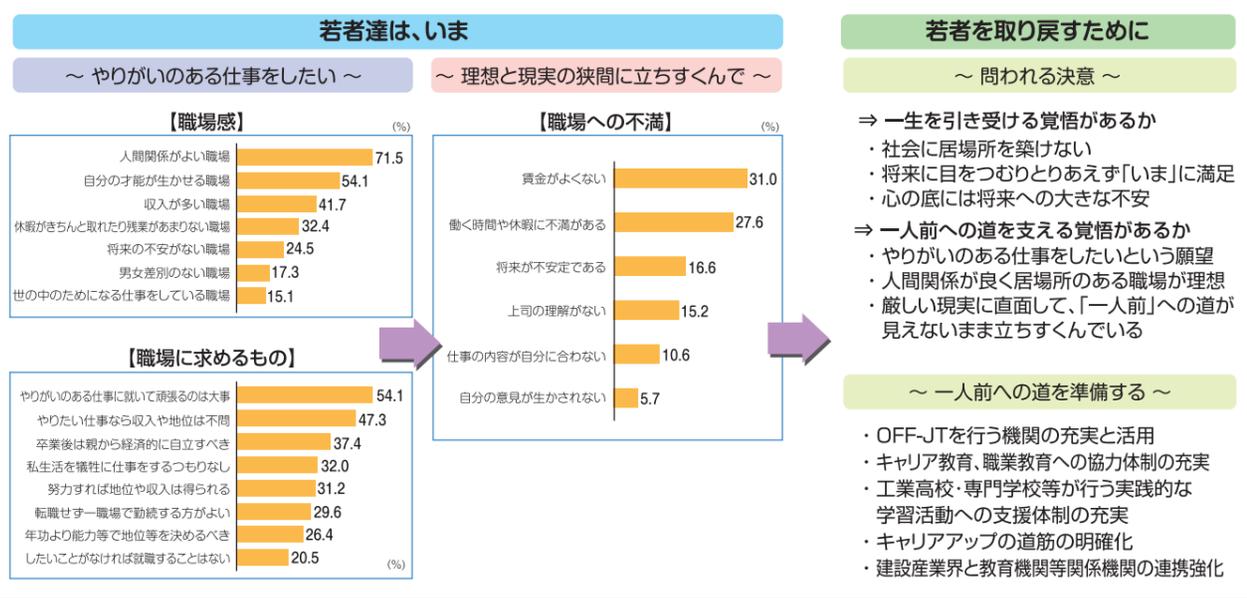
建設産業を取り巻く環境が大きく変化を見えています。人材不足など将来のために解決しなければならない課題がたくさんあります。これらの課題解決に向け日建連の取り組みに日建協のご協力を改めてお願いします。

BWI-JAC(国際建設林業労働組合連盟日本加盟組合協議会) 議長 岩崎 春良 様



先輩たちが築いた組織をさらに、発展させていくことに対して、心から敬意を表したいと思えます。BWIは世界レベルでの建設産業の発展をめざし、国々を跨ぐ横断的な諸問題の解決にむけてさまざまな活動をおこなっています。今後とも日建協のご協力をお願いします。

「人材危機をどう乗り越える」をテーマに、若者や中堅社員、女性が活躍するには何が必要かという観点で、多くの課題とその解決策について講演をいただきました。ここではその一部をご紹介します。



# 女性技術者が 入るために 働き続けるために ……どうする？

～女性の活躍にむけ、働く私たちからのメッセージ～

●2013.11.1 第1回女性技術者会議 ●2014.4.18 第2回女性技術者会議

## 2013年度女性技術者会議を開催しました

日建協では、建設産業におけるワーク・ライフ・バランスの推進には女性の視点を活かすことが必要と考え、2009年度より女性技術者会議を開催しています。

2013年度は「女性技術者が増えるための課題」をテーマに、「入職するための課題」と「働き続けるための課題」に分けて、個人ワークとグループ討議を行いました。

1回目の会議では、その「課題」について抽出し、2回目の会議では、その課題解決のための関係者も想定し、より具体的な「解決策」を導き出しました。ここでは、女性技術者会議で出された意見をご紹介します。



## 内閣府よりご挨拶

男女共同参画局推進課  
仕事と生活の調和推進室 赤塚推進係長



本日は、建設業で働く女性技術者のみなさんの実状についてうかがい知り、今後の施策に活かすべく、活発な討議を期待しています。

内閣府では「男性も女性も意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる」ことに向けて取り組んでいます。また、ホームページでは女子学生向けに理工系への進路選択応援サイト「理工チャレンジ」を運営しています。建設会社で活躍している女性からのメッセージを是非ともみなさんから発信してください。



### 入職するための

課題	作業着や安全靴に魅力がない。作業着や安全帯が女性の体に合わない。	入職前に建設業での働き方が分からない。建設業で働く技術者と入職希望者をつなぐ機会が少ない。	女性技術者を活躍させたいのか、増やしたいのか見えずらい。	入職時点で男性の方が圧倒的に多い。	現場の実態が分からない。女性や学生にとって身近でない。	若い世代に建設産業が正しく理解されていない。ゼネコンを知らない。	建設業自体のイメージが悪い。男性社会のイメージが強過ぎる。
解決策	女性用サイズや機能性、デザイン性の好事例を他社に情報展開していくべき。	現場見学会や出前講座など、業界団体や日建協などが主導して機会を設けるべき。講師募集などあれば、*ゼネコン女子会としても協力していきたい。	企業として姿勢を示すべき。ロールモデルの提示など、女性活躍にむけた意思表示を行うべき。	採用の考え方と方法を変えるべき。女子学生向けには、女性が参加しやすい説明会として建設産業全体で共同開催するなど、開催方法を工夫すべき。	メディアや企業ホームページなどで現場見学会の開催などを掲載し、窓口を広げていくべき。	親子や小中学校の社会科見学会を対象とした現場見学会を開催したり、出前講座や防災教育などで若い世代にPRしていくべき。	メディアによるイメージアップをはかるべき。情報番組やテレビドラマ、CM、ゲーム、キャラクターなど、もっと社会にPRしていくべき。

\*ゼネコン女子会：ゼネコン各社に勤務する女性職員の有志が集まって発足した会のこと

### 関係者



### 働き続けるための

課題	相談できる同職の先輩後輩同僚が少ない。	ロールモデルが極端に少ない。過剰な配慮をされる。	配偶者の転勤時に辞める場合が多い。	評価・昇進スピードに男女間の差があるとモチベーションが下がってしまう。	出産などで休職する場合でも職場人員が不足しており、安心して任せられない。	拘束時間が極端に長く、子育てをしながら働ける環境でない。	休みが少ない。現場優先で、働く時間に融通が利かない。プライベートがほほない。	子供の保育園がなく、職場復帰できない場合がある。	女性の特性を活かせていない。	
解決策	産業全体で女性のネットワークを広げていくべき。先輩の相談に乗ってあげられる環境を整えることが大事。	ホームページ等で先輩の人生紹介をすべき。会社として、女性部下を持つ上司への指導者教育をしっかりと行うべき。	技術や職種がどこでも通用するような人材を目指し、新しい仕事、働き方を見つけていくべき。	配偶者転勤後も働き続けられる制度、環境を作っていくべき。	公平公正な評価をすべき。	フォロー体制を整え、企業がプラス1の人員配置をして一人ひとりの負担を減らすべき。	週休2日制を当たり前にする。勤務時間に縛られない働き方を可能にして、業界のあり方を変えるべき。	休日取得のために、入札条件に「週休2日」を課す。 低価格や短工期受注をしない。 土日稼働、24時間稼働という現場は、発注者も含め考え直していくべき。	会社や現場に保育スペースをつくるべき。ベビーシッター補助金制度や保育園斡旋など復帰しやすい制度、流れをつくるべき。	女性が多く利用する建物のプロジェクトには、メンバーに女性を多く配置するなど、活躍できる場を考え、実行に移すべき。

## 2013年度 女性技術者会議参加者 (敬称略、50音順)

**女性技術者委員**：飯塚公子(東鉄労組)、石坂嘉名代(大和小田急労組)、今井暢子(安藤ハザマユニオン)、上野尚佳(戸田職組)、榎園彩(奥村職組)、大倉紀子(銭高労組)、木本菜実(西松職組)、工藤恵美子(飛鳥労組)、小山敦子(シミズユニオン)、澤村淳美(戸田職組)、高岡怜(三井住友社組)、高橋杏菜(アサマユニオン)、田邊麻由子(三井住友社組)、二村奈央子(安藤ハザマユニオン)、浜住美香(佐藤職組)、富士本佳亜(フジタ職組)、藤本景子(西松職組)、藤原亜紀子(三井住友社組)、村松千香子(戸田職組)、門馬友理子(ペンタユニオン)、山口泉(シミズユニオン)

**来賓**：内閣府 赤塚真弥子、一般社団法人日本建設業連合会 田中規博

**オブザーバー**：王婷婷(東洋大学理工学部建築学科)

**マスコミ**：日刊建設通信新聞社、日刊建設工業新聞社、日刊建設産業新聞社

## 女性技術者会議を終えて

建設産業は他の産業に比べ女性の進出が遅れています。しかし、女性技術者が活躍できる場面はたくさんあるはず。国や業界団体も本気で取り組みを始めています。私たちみんなで、女性にとって働きやすい職場環境を目指して行きましょう。それは結果として、誰にとっても働きやすい環境につながってくるはず。

今回出された課題解決策の中には、各企業で努力すべき問題の他にも、一企業では解決が難しい構造的な問題も多く含まれています。日建協では、いただいた意見を今後も国や企業、そして関係諸団体に対し、しっかりと発信していきます。

※国土交通省への提言により、国土交通省の策定した「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」の具体策にその多くが盛り込まれました。

# 11月8日は統一土曜閉所日

## みんなで土曜閉所運動にとりくもう！「土曜日は休日だ！」

日建協では2002年11月から統一土曜閉所運動に取り組んでいます。加盟組合が連帯して土曜閉所に取り組むことで、1つでも多くの作業所が土曜閉所を実施し、外勤部門における土曜休日取得率向上の足がかりにしたいとの思いから、一斉閉所することを提案しました。取り組み開始から12年になりますが、統一土曜閉所日の閉所率は3～4割程度で推移しています。年にたった2回の統一土曜閉所日を休めない産業…。皆さんはこのような産業でずっと働き続けられますか？長時間労働をなくし安心して働き続けることができる環境とするため、今こそ建設産業で働く私たち全員が一致団結して「変革」にむけて取り組まなければなりません。



## 向上しない閉所率の実態

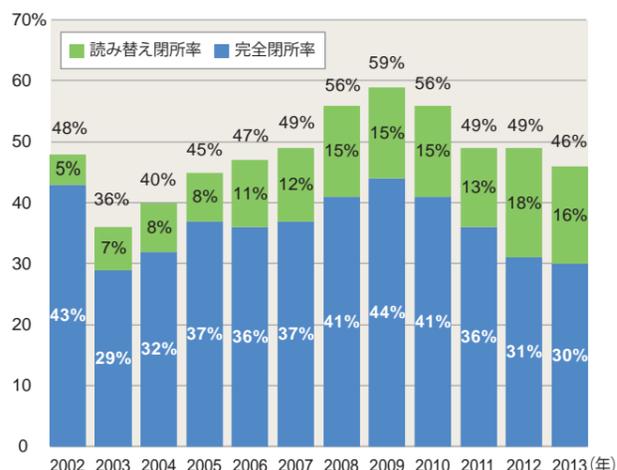
統一土曜閉所運動の取り組みを開始して以来、最も閉所率が高かったのは2009年でした。統一土曜閉所日の当日に約半数が閉所し、他の日に読み替えて閉所した作業所を含めると、6割近い作業所で閉所できている結果となりました。しかし、その後は低下傾向が続き、昨年11月は2009年以降最も低い閉所率となりました。心と体の健康を確保するために休みは欠かせません。統一土曜閉所運動に意識して取り組むことで、休める環境を積極的に作っていきましょう。



11月統一土曜閉所運動ポスター

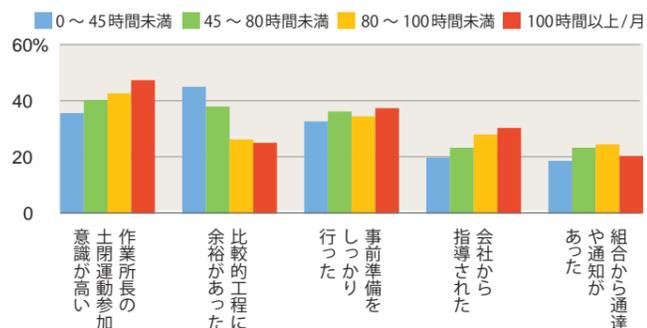


土曜閉所運動ヘルメットステッカー



11月統一土曜閉所運動結果の推移

## 日建協加盟組合で土曜閉所ができた作業所について



所定外労働時間別 統一土曜閉所ができた理由 上位5項目 (3つ選択)

2013時短アンケートにて、所定外労働時間別に統一土曜閉所ができた理由について調査したところ、「作業所長の土曜閉所参加意識が高い」がもっとも多く、所定外労働時間が多くなるにつれて、そのように回答する組合員も多くなる結果となりました。私たち組合員の意識だけでなく、上司の意識も向上させるためには、会社全体で運動に取り組むことが重要になります。また、事前準備を行ったことも閉所できた理由に多くあげられました。皆さんの職場でも、閉所にむけた事前準備を心がけましょう。

## 建設産業で土休は不可能か？ → そんなことはありません。

### 【長谷工グループ労働組合の取り組み事例】

建設産業労働組合懇話会（建設産労懇）の仲間である、長谷工グループ労働組合（長谷工G労組）の取り組み事例をご紹介します。長谷工G労組は、2002年11月の日建協統一土曜閉所運動の開始と同時に土曜日の一斉閉所を開始しました。その後、2006年からは年5回に一斉閉所日を増やして取り組みをされています。日建協の読み替えを含めた閉所率が40～50%であるのに対し、長谷工G労組では完全閉所率で70～90%超、読み替えを含めると95%以上の閉所率となっています。では、どうしてこのような高い閉所率を維持できているのでしょうか。長谷工G労組からお話をうかがい、土曜日一斉閉所を可能にする主な要因をまとめてみました。



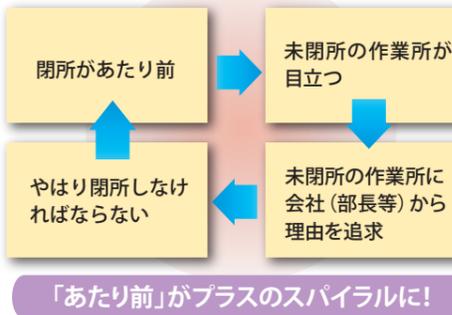
※「魅力ある作業所研究会」は労働環境改善等について討議する会

### 《統一土曜閉所を可能にした3つのポイント！》

- ① 組合活動から「労使一体の取り組み」とした。  
→ 会社の強力な指導により、作業所に対し強制力を持つ。
- ② 前年度に日建協統一土曜閉所日を加味した翌年度の年間休日計画を労使協議により決定。  
→ 工程に土曜閉所を組み込み協力会社に前もって説明することで、事前に閉所に向けて準備を行うことができる。
- ③ 全ての作業所を一斉閉所することで稼働作業所をなくす。  
→ 稼働している作業所がほとんどないため、未閉所の作業所が目立ち、稼働しづらくなる。

### 【日建協統一土曜閉所日以外の3日間も下記の工夫で高閉所率を実現！】

- ◎ なるべく3連休となる土曜日に設定する。  
→ 全社員及び協力会社の誰もが気兼ねなく連休が取れることで家族サービスにもつながるなど生活が充実する。
- ◎ 機材センターが搬入・搬出を行わない第2、第4土曜日に設定する。  
→ 主用建設資材の搬入・搬出ができないため閉所しやすくなる。



## ～日建協の突撃 Question～

日建協	日給で仕事をされている技能労働者の方々から、土曜日の作業をさせて欲しいなどのお話はないのですか？
長谷工G労組	あらかじめわかっている年に5回だけの一斉閉所であることと、3連休にすることで技能労働者の方々も気兼ねなく休息や家族と出かける時間をつくれるので、そういった話は今ではほとんど聞かなくなりました。
日建協	長谷工さん独自の生産システムだから土曜閉所が可能なのでしょうか。
長谷工G労組	そういった部分もあると思いますが、「魅力ある作業所研究会」などで、時短推進活動に粘り強く取り組んだ成果も大きいと思います。日建協の加盟組合でも閉所率の高い組合もあると思うので、あきらめずに取り組みればきっと閉所できると思います。

## 建設産業を魅力あふれる輝く産業へ

長谷工G労組の取り組み事例から、労使・関係各所等が一体となって取り組めば、土曜閉所は不可能ではないことがご理解いただけたと思います。長谷工G労組で閉所を可能にしたポイントがあるように、それぞれの加盟組合や会社ごとに、閉所を可能にするポイントがきっとあるはず。作業所に勤務する私たちが安心して働ける魅力ある産業とするため、あきらめず、粘り強く取り組んでいく必要があります。

ミュージカルに例えると、建設産業は明るく輝くスポットライトをあびたステージで、そこで働く私たち全員が個性と誇りを持った主役です。役者であれば誰がステージに上がっても輝けるように、また役者をめざす若者が安心して演技（仕事）ができるように、最高のステージをつくり上げましょう！



# 戸田建設職員組合

戸田建設株式会社は明治14年に東京・赤坂で創業し、以来、近代建築史上にも残される名建築を手掛けてきました。昨今は得意分野である病院や学校などを始めとする建築事業を中心に、土木・不動産事業とあわせて幅広く展開しています。

戸田建設職員組合は昭和21年に発足し、着実に歴史を刻んでいます。組合員の声に常に耳を傾け、組合員の生活を第一に考えて活動を進めてきています。

本社並びに組合事務所は、オフィスビルの立ち並ぶ中央区京橋一丁目にあります。京橋は日本橋より東海道にて京都へ向かう際、街道で最初に渡る橋。創業者戸田利兵衛の出身地である京都への思いが残されているのかも知れません。

- 設立：昭和21年7月
- 支部数：11支部
- 組合員数：2,739名(平成26年7月1日現在)
- 本部役員数：9名
- 本部役員会：週1回(2日間開催)
- 組織率：69%

## 気持ち良い職場から 希望に満ちた未来へ

建設産業を取り巻く環境が変化を続ける中で、会社も組合も、今まさに転換期を迎えていると感じています。

今年度は、『気持ち良い職場から 希望に満ちた未来へ』のスローガンのもと、最高の人からなる最高の組織を目指して活動を展開していきます。この気持ち良い職場とは「職場内や部署間のコミュニケーションをさらに高めることで、チームワークを遺憾なく発揮できるメリハリのある職場」「高い目的意識を持った前向きな職場」「安心と希望が持てる生活へ繋がる職場」を指しています。そのような職場づくりが実現できれば、希望に満ちた未来へと繋がるものと考えています。



阿部本部委員長

## 会社の意識が変わってきた

2年ほど前、モチベーションの低下した現状を打破したいとの思いから、大々的に組合員の声を集め、提言書という形で会社側へぶつけました。そして、その後も地道に協議を続けたことにより、今年3月には『長時間労働解消に向けて』といった会社通達という形で、建築・土木それぞれの業務に基づいた時短への施策が全職員むけに打ち出されました。今回の会社主導の取り組みは組合としても大きなチャンスと捉えており、まずはこの施策の運用を積極的にフォローしていきたいと考えています。

また、昨年度、勤続15年を経過した職員について、5日間の特別休暇を取得できるリフレッシュ休暇制度を要求しました。その結果、勤続15年に加え、勤続10年を経過した職員においてもリフレッシュ休暇が取得できるようになり、組合要求以上の回答を得ることができました。このことは、会社がこれまで以上に職員のことを考えるようになった証であり、組合員の皆も会社の意識が変わってきたことをぜひ感じ取ってもらい、前向きな意識になることを願っています。



後列左から  
本郷副委員長  
和泉制度・福祉対策部長  
大町組織部長  
岡田副委員長  
前列左から  
平澤書記長  
阿部委員長  
根本副委員長



入社1～6年目の組合員を対象として、コミュニケーションとチームワークの向上を狙って行われた「ヤングセミナー」の様子。ペアで高いところに登り、目隠しをした人が、もう一人の声を頼りに橋を渡り切ります。

## 産業のイメージアップを

建設産業の魅力化に必要なこととして、賃金水準の向上と就労時間の改善などがよく挙げられますが、昨今最も重要なのは、産業全体のイメージアップにより建設産業の地位向上を図ることだと考えています。建設業の成せる業により出来上がった建物をアピールしたり、国の基幹産業としての役割や重要性を社会にしっかり伝えることが重要であると思います。

現場レベルでは、常日頃から近隣を始めとした地域社会を意識し、笑顔あふれる明るい現場づくり、地域の方と接するときの挨拶や立ち振る舞いなど、日ごろの積み重ねが、建設産業のイメージアップにつながるはずです。

そして最終的には、産業のイメージが変わりその重要性が広く認められることで、建設産業に働くすべての人たちが、安心してものづくりの喜びを感じ、日々充実感を得て笑顔で仕事ができる環境になることを願っています。



平澤本部書記長

## 日建協にむけて

企業別組合では取り組めない、社会全般への幅広い活動に期待しています。特に、産業のイメージアップにむけた動きとして、例えば全国ネットのメディアへ建設産業の魅力について働きかけるなど、産業の底上げを目指してほしいと思います。

阿部委員長と平澤書記長の穏やかな口調の奥からは「転換期を迎えた今、一つ一つの取り組みが大切なんだ」という強い思いが伝わってきました。

日ごろより、日建協の活動においても存在感を発揮され、大きくお力添えをいただいていることに対し感謝を申し上げます。

戸田建設職員組合の皆さんの今後の活動が、さらに実り多きものとなりますよう祈念いたします。日建協も全力で応援していきます。

# 日建協ヤング・ゴー!・ゴー!2014 開催報告

～ここで会うのも何かの縁 投げて生まれる新たな絆 心をひとつにLet's ボーリング!～

各加盟組合の枠を超えた組合員同士の深い連帯感の創出につなげるため、団体戦のボーリング大会という形で、加盟組合間交流会「日建協ヤング・ゴー!・ゴー!2014」を東京と大阪で開催しました! 若手を中心にあわせて300名を超える組合員の方に参加いただき、両会場とも大いに盛り上がりました。それでは活気に満ちた笑顔あふれる皆さんの様子をご紹介します!

## Tokyo 東京会場 (5月23日(金) 田町ハイレーン)



みんな違う会社の人だけど 思ったより楽しいよね!



盛り上がってるかい!

加盟組合執行部代表 乾杯!  
三宅 諭さん(東洋職労組)



Disney チケット Get!



組合員代表による始球式の様子  
櫻井 良祐さん(青木あすなろ職組)  
伊藤 幸子さん(大豊労組)



## Osaka 大阪会場 (5月30日(金) 桜橋ボウル)



組合員代表による始球式の様子  
青石 裕斗さん(アサヌマユニオン)  
青柳 友佳里さん(大鉄労組)



みんな USJ行くぞ!



乾杯!



加盟組合執行部代表 乾杯!  
百田 慎治さん(鴻池労組)

## 参加された皆さんの声をご紹介します! (「日建協ヤング・ゴー!・ゴー!2014」参加者アンケートより)

これを励みに今後も頑張っていこうと思った。

活気があって刺激的だった。

この業界で働いていてよかったと思える時間だった。

お料理の種類が豊富でどれもとても美味しくお腹いっぱい食べられた。

こんなにも建設業に携わっている若手がいるんだと思うと、大変うれしく思えた。

同じ業界で働く年の近い方々に会って話すことができ、とても新鮮だった。

この会を機に日建協のHPもよく見に行くようになった。

他の会社の人たちとの意見交換会に繋がろう。

景品も豪華で盛りだくさんで、結果発表も楽しかった。

明るい未来に向けて努力されている話を聞き、私も頑張っていこうと思った。

似たような境遇の方が多く、同じ会社の人間とはまた違った会話ができた。

楽しかったので、また参加したい。

すべてはご紹介できませんでしたが、今後の活動の推進力となるようなご感想を多くいただき、とても嬉しく思います。また、企画内容のアイデアを含めたくさんのご意見をいただきました。今後の開催検討にぜひ活用させていただきます。アンケートのご協力ありがとうございました。

本交流会に参加していかがでしたか?

とても良かった	37%
良かった	51%
どちらでもない	11%
あまり良くなかった	1%

この交流会で何人の方とお話しましたか? (他の組合の方と)

10人以上	38%
5~9人	47%
1~4人	13%
0人	1%
未回答	1%

日建協は今後も、建設産業の活性化と連帯意識の向上にむけて、加盟組合員同士の交流の場を提供していきます。次回のヤング・ゴー!・ゴー!は、あなたの街で開催されるかもしれませんよー。お楽しみに!

